

H30 年度病床機能報告結果に基づく定量的基準の設定について

1. H30 年度病床機能報告結果に基づく設定項目該当要件(しきい値)について

- ・要件については、以下のとおりとする。
病棟単位の月あたりの回数÷許可病床数＝2.4 以上
※平成 29 年度病床機能報告結果としきい値は変わらず。

〈要件の設定方法〉

- ・急性期一般入院料 1～3（旧：一般病棟 7：1）の大半（概ね 75% 程度）が、重症急性期に区分される程度とする。
※上記算定式の結果、2.0～3.0 まで 0.1 ごとに比較検討し、「2.4」と設定。
※しきい値は年度ごとの治療実績により変更する可能性がある。

→より急性期的な機能を示す 48 項目のうち、いずれか 1 つ以上の要件を満たす急性期病棟は、重症急性期と整理する。

2. 基準について（参考）

1) 概要

- ・より急性期的な機能を示す治療項目と治療実績の要件を設定する。
- ・この基準を満たす急性期病棟は、便宜上、「重症急性期」（より急性期的な機能）と整理し、満たさないものは「地域での生活を支えるための急性期」（以下、「地域急性期」という。）と整理する。

2) 定量的基準を適用しない病棟について

以下の病棟については定量的基準を適用しないものとする。

- ・特殊性の強い病棟
 - ① 主とする診療科が以下の病棟
産科、産婦人科、小児科、小児外科
※混合病棟については主たる診療科で判断。
 - ② 緩和ケア病棟
- ・有床診療所

3) 定量的基準の抽出項目について

次ページの表のとおり、全 53 項目中 48 項目を定量的基準として設定。

具体的な医療の内容	項目
3. 幅広い手術の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 手術総数 ② 全身麻酔の手術総数 ③ 人工心肺を用いた手術 ④ 胸腔鏡下手術 ⑤ 腹腔鏡下手術
4. がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 悪性腫瘍手術 ③ 術中迅速病理組織標本作製 ④ 放射線治療 ⑤ 化学療法 ⑥ がん患者指導管理料 1 及び 2 ⑦ 抗悪性腫瘍剤局所持続注入 ⑧ 肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入 ⑨ 超急性期脳卒中加算 ⑩ 脳血管内手術 ⑪ 経皮的冠動脈形成術 ⑬ 精神科リエゾンチーム加算 ⑭ 認知症ケア加算 1 ⑮ 認知症ケア加算 2 ⑰ 精神疾患診断治療初回加算（救命救急入院料）
5. 重症患者への対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ③ 救急搬送診療料 ④ 観血的肺動脈圧測定 ⑤ 持続緩徐式血液濾過 ⑥ 大動脈バルーンパンピング法 ⑦ 経皮的心肺補助法 ⑧ 補助人工心臓・植込型補助人工心臓 ⑨ 頭蓋内圧持続測定（3 時間を超えた場合） ⑩ 人工心肺 ⑪ 血漿交換療法 ⑫ 吸着式血液浄化法 ⑬ 血球成分除去療法
6. 救急医療の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 院内トリアージ実施料 ② 夜間休日救急搬送医学管理料 ③ 救急医療管理加算 1 及び 2 ④ 在宅患者緊急入院診療加算 ⑤ 救命のための気管内挿管 ⑥ 体表面ペーシング法又は食道ペーシング法 ⑦ 非開胸的心マッサージ ⑧ カウンターショック ⑨ 心膜穿刺 ⑩ 食道圧迫止血チューブ挿入法
8. 全身管理の状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 中心静脈注射 ② 呼吸心拍監視 ③ 酸素吸入 ④ 観血的動脈圧測定（1 時間を超えた場合） ⑤ ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄 ⑥ 人工呼吸（5 時間を超えた場合） ⑦ 人工腎臓、腹膜灌流 ⑧ 経管栄養カテーテル交換法

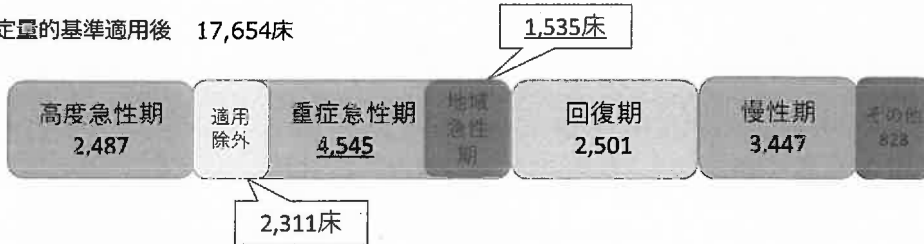
【H30 年度病床機能報告結果に基づく結果について】

1 【岐阜県全体】 定量的基準の適用結果について

◆2019 (H30)年度病床機能報告 17,654床



◆定量的基準適用後 17,654床



◆2025(H37)年度必要病床数 14,978床

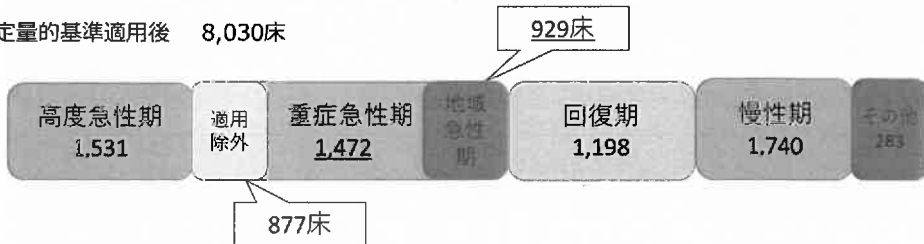


2 【岐阜圏域】 定量的基準の適用結果について

◆2019 (H30)年度病床機能報告 8,030床



◆定量的基準適用後 8,030床



◆2025(H37)年度必要病床数 7,074床

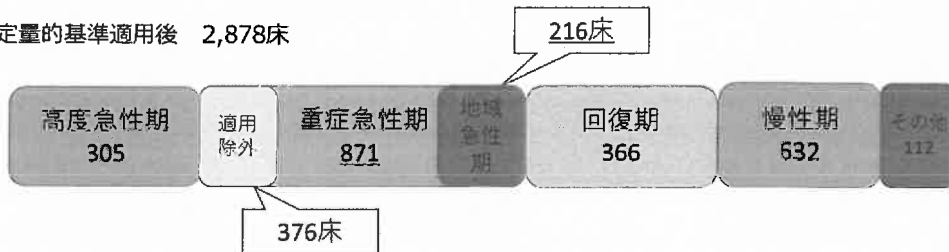


3 【西濃圏域】 定量的基準の適用結果について

◆2018 (H30)年度病床機能報告 2,878床



◆定量的基準適用後 2,878床



◆2025(H37)年度必要病床数 2,430床

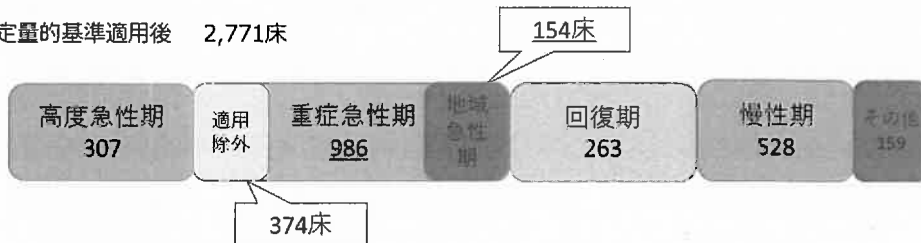


4 【中濃圏域】 定量的基準の適用結果について

◆2019 (H30)年度病床機能報告 2,771床



◆定量的基準適用後 2,771床



◆2025(H37)年度必要病床数 2,411床

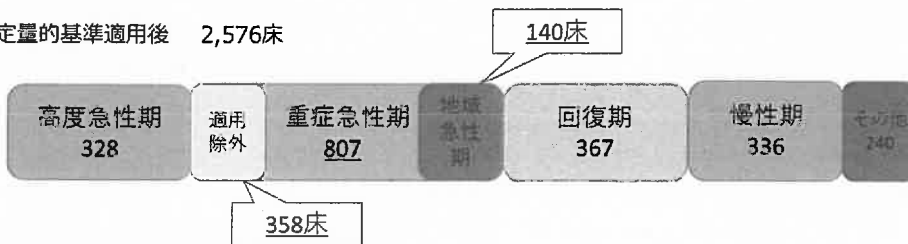


5 【東濃圏域】 定量的基準の適用結果について

◆2019 (H30)年度病床機能報告 2,576床



◆定量的基準適用後 2,576床



◆2025(H37)年度必要病床数 2,057床

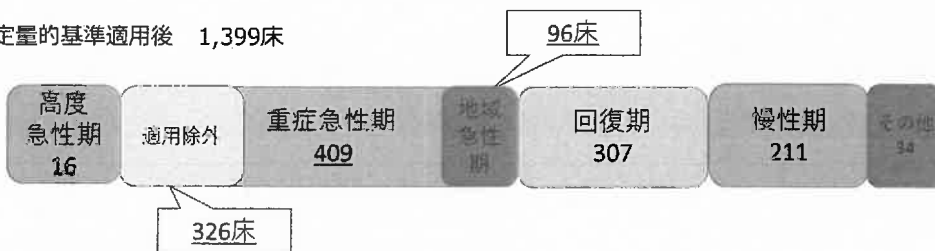


6 【飛騨圏域】 定量的基準の適用結果について

◆2019 (H30)年度病床機能報告 1,399床



◆定量的基準適用後 1,399床



◆2025(H37)年度必要病床数 1,006床



平成29~30年度病床機能報告結果 比較

○許可病床

圏域	適用除外												重症急性期				地域急性期			
	小児科等				様式2未提出				有床診				H30(g)	H29(h)	差 (g)-(h)	H30(i)	H29(j)	差 (i)-(j)		
	H30(a)	H29(b)	差 (a)-(b)	H30(c)	H29(d)	差 (c)-(d)	H30(e)	H29(f)	差 (e)-(f)	H30(f)	H29(g)	差 (g)-(h)								
岐	354	403	▲ 49	100	305	▲ 205	423	397	26	1,472	1,603	▲ 131	929	871	58					
西	190	247	▲ 57	0	0	0	186	157	29	871	611	260	216	311	▲ 95					
中	281	157	124	0	3	▲ 3	93	132	▲ 39	986	929	57	154	332	▲ 178					
東	272	277	▲ 5	0	0	0	86	114	▲ 28	807	840	▲ 33	140	270	▲ 130					
飛	248	248	0	29	0	29	49	49	0	409	517	▲ 108	96	35	61					
合	1,345	1,332	13	129	308	▲ 179	837	849	▲ 12	4,545	4,500	45	1,535	1,819	▲ 284					

○病棟

圏域	適用除外												重症急性期				地域急性期			
	小児科等				様式2未提出				有床診				H30(g)	H29(h)	差 (g)-(h)	H30(i)	H29(j)	差 (i)-(j)		
	H30(a)	H29(b)	差 (a)-(b)	H30(c)	H29(d)	差 (c)-(d)	H30(e)	H29(f)	差 (e)-(f)	H30(f)	H29(g)	差 (g)-(h)								
岐	11	13	▲ 2	2	6	▲ 4	40	38	2	30	34	▲ 4	19	17	2					
西	4	5	▲ 1	0	0	0	15	13	2	17	12	5	4	5	▲ 1					
中	6	4	2	0	1	▲ 1	10	14	▲ 4	22	20	2	4	7	▲ 3					
東	7	7	0	0	0	0	6	9	▲ 3	16	17	▲ 1	3	5	▲ 2					
飛	5	5	0	1	0	1	4	4	0	8	10	▲ 2	2	1	1					
合	33	34	▲ 1	3	7	▲ 4	75	78	▲ 3	93	93	0	32	35	▲ 3					